

医療機器開発のアイデアを上市するまでのプロセスを、
「実践的に学ぶ」3か月集中プログラムです。

開催
期間

2024.11月～
2025.1月

募集
期間

2024.9/16～10/15
月 火

参加条件

こんな方をお待ち
しています！

- ◆ 本気で起業する意思がある
- ◆ 解決したい臨床ニーズを持っている(事業としての可能性が感じられる)
- ◆ 毎週2時間以上、本プログラムにコミットできる(出席、宿題など)

対象 企業の方
大学研究者・大学教職員
大学院生

参加費 無料

形式 オンサイト(11/6、1/29)
オンライン(11/20-1/22)

定員 1～2チーム
(1チーム最大4名程度)

*応募チーム多数の場合は選抜。参加条件
に該当する方がいない場合は開催しない。
*採択結果発表 10月25日

プログラム

開催日	内容
● 11月6日(水) ブートキャンプ	13:00-17:00 チーム発表/フィードバック 講義・実習 プロセス概要 講義 事例紹介 松下理恵(株式会社十人十色舎 代表取締役/小児科専門医・指導医) 谷亮太郎(株式会社 Eudaimonix 代表取締役/消化器外科医)
	18:00- 懇親会
● 11月20日(水)	ニーズの定義・検討(1)
● 11月28日(木)	ニーズの定義・検討(2)
● 12月4日(水)	ニーズの特定・調査(1)
● 12月11日(水)	17:30-18:30 (最長19:30まで) ニーズの特定・調査(2)
● 12月18日(水)	ニーズの特定・調査(3)
● 1月8日(水)	コンセプトの検討(1)
● 1月15日(水)	コンセプトの検討(2)
● 1月22日(水)	事業化戦略
● 1月29日(木) 最終発表	14:00-17:00 最終発表/フィードバック 講演「メドテックイノベーション(仮)」 中尾浩治(元・テルモ株式会社 代表取締役会長)
	18:00- 懇親会

● = オンサイト ● = オンライン

参加申し込みはこちら

<https://forms.gle/PZH3v2Ms5nvYVeQz9>



近年、注目が高まる ジャパンバイオデザイン そのエッセンスを取り入れた

ジャパンバイオデザイン大阪

J A P A N
B I O D E S I G N
O S A K A

Biodesignは、2001年にスタンフォード大学のDr. Paul Yockらが、デザイン思考を基にした医療機器イノベーションを牽引する人材育成プログラムとして開始。医療現場のニーズを起点とし、初期段階から事業性を検証しながら問題の解決策を開発し、イノベーションを実現するアプローチを特徴とします。14年間で40社の起業を実現し、400件以上の特許が出願された。現在は、インド、シンガポール、アイルランド、イギリスで導入され、さらには、中国やブラジルをはじめとする世界各国で導入が検討されています。

みなさんの「本気」を私たちメンターが 全力でサポートします！



八木雅和 Masakazu Yagi

大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授
一般社団法人臨床医工情報学コンソーシアム関西 上席研究員
ジャパンバイオデザイン プログラムディレクター

東京大学大学院工学系研究科電子工学科、博士課程修了。2008年に臨床医工学融合研究教育センター特任准教授に。生体の数理モデリングや専門家の知識を実装した意思決定支援システムに関する研究に携わる。スタンフォード・バイオデザイングローバルファカルティ研修を修了後、ジャパンバイオデザイン立ち上げに参画。2017年に大阪大学大学院医学系研究科にバイオデザイン学共同研究講座を立ち上げ、特任准教授に。2019年に日本バイオデザイン学会立ち上げに参画し、2022年4月から現職。



中尾浩治 Koji Nakao

元・テルモ株式会社 代表取締役会長
一般社団法人日本バイオデザイン学会 特別顧問(ファウンダー) PhD

慶應義塾大学法学部、早稲田大学大学院先進理工学研究所生命医科学博士。医療機器メーカーのテルモ株式会社に勤務、2016年に代表取締役会長及び業界団体の日本医療機器連合会会長を退任。2015年、東北大学、東京大学、大阪大学にバイオデザイン・プログラムを導入。現在は、受講生及び修了生に対するメンタリングおよびMedTechの会社およびベンチャーの社外取締役及びアドバイザーを務める。(合)アート・マネジメント・しまなみを運営、現代アートのコレクションおよび企画を手掛ける。

事務局

山口 太郎 Taro Yamaguchi

京都大学大学院医学研究科「医学領域」
産学連携推進機構特定講師/
HIDEP プログラムディレクター

シャープ(株)知的財産本部、京都大学産官学連携本部を経て、2014年から現職。現在は主に、医療機器案件、医療ヘルスケア起業家育成プログラムHiDEPの企画・運営、インキュベーション施設「Innovation Hub Kyoto」の運営を担当。京都大学に着任後は一貫して、スタートアップの創出・成長支援に従事。2019年からは京大発ベンチャー、(株)ナルスコーポレーションの産学連携フェローを兼務。大阪大学工学部卒業。工学修士(大阪大学)。経営学修士(神戸大学)。社会健康医学修士(京都大学)。経済学博士(京都大学)。

プログラムの魅力

- ▶ ニーズ発メドテックイノベーション・アプローチ(バイオデザイン)に長けたメンターが、3か月間、徹底的にサポートします。
- ▶ ニーズ視点で課題や市場規模などの検証し、事業性の高いコンセプト創出、補助金申請が可能なレベルのアウトプットを目指します。
- ▶ 実践的にプロジェクトを推進することで、ニーズ発メドテックイノベーション・アプローチについて学べます。

オンサイト会場

イノベーションハブ京都

(京都大学医薬系総合研究棟3階)

<http://www.ihk.med.kyoto-u.ac.jp/access>

